

第53回

日本伝統工芸展

陶芸／染織／漆芸／金工／木竹工／人形／諸工芸

平成19年

1月24日(水)～2月4日(日)

(月曜日休館)

午前9時～午後5時(土曜日は午後7時まで、入館は閉館の30分前まで)

会場／広島県立美術館(広島市中区上櫛町2-22)

主催／広島県立美術館／NHK広島放送局／朝日新聞社／社日本工芸会

後援／文化庁 ■協力／白鳳堂

■入館料

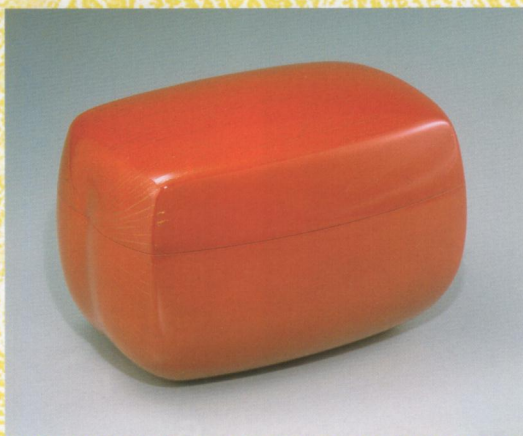
一般 七〇〇円(前売・団体六〇〇円、割引六五〇円)

高・大学生 四〇〇円(前売・団体三〇〇円、割引三五〇円)

小・中学生 三〇〇円(前売・団体二〇〇円、割引二五〇円)

※団体は、20名以上

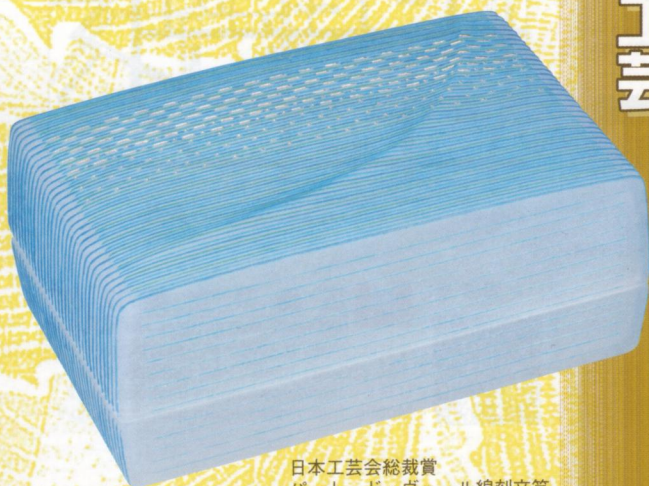
※前売券は広島県立美術館、広島市内の主なプレイガイド・画材店・画廊などで販売しています



東京都知事賞 乾漆箱【結】 奥井 美奈



文部科学大臣賞
紋紗着物 【月下溪韻】 土屋 順紀



日本工芸会総裁賞
パート・ド・ヴェール線刻文筥
【草原を行く風】 石田 知史



日本工芸会会長賞 備前鉢 宮尾 昌宏

日本伝統工芸展

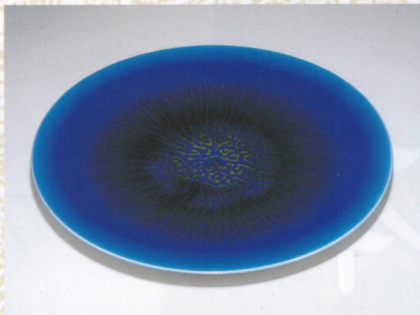
人間国宝から新進気鋭の作家まで



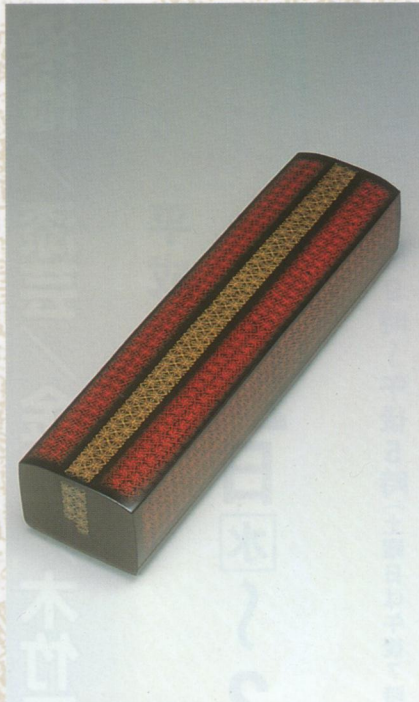
NHK会長賞 線上捺模様花藍 畠山 青堂

日本工芸会奨励賞 紋り染訪問簪
【富貴の花】市瀬 史朗

朝日新聞社賞 楓拭漆箱【皓月千里】須田 賢司



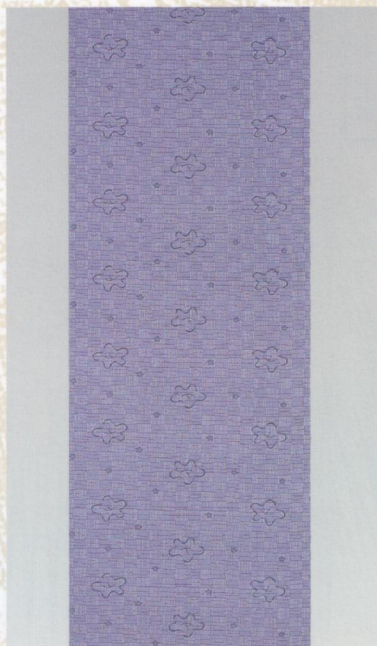
日本工芸会奨励賞 彩釉鉢【深海】田島 正仁



日本工芸会奨励賞 蒔繪短冊箱 松本 光太



日本工芸会奨励賞 銀四分一打出象嵌花器 前田 宏智



高松宮記念賞 江戸型小紋両面染【梅】小宮 康正

日本伝統工芸展は、日本の風土の中から生まれた世界に誇る工芸技術を発展継承させることを目的に昭和29年に創設されました。伝統工芸は、単に古いものを模倣し、従来の技法を墨守することではありません。伝統こそ工芸の基礎になるもので、これをしっかりと把握し、前代から受け継い

だ優れた技術を一層練磨するとともに、今日の生活に即した新しいものを築き上げることを目標としています。本展では、人間国宝（重要無形文化財保持者）から新進気鋭の若手まで日本を代表する作家の作品328点が展示されます。なお、広島県内からは11名の作家の作品が入選しています。

日本工芸会奨励賞
【秋天】桐壁紙貼 浅井 秀子

講演会

テーマ：「友禅の美—その試み—」

講師：森口邦彦（日本工芸会副理事長・染織作家）

日時：平成19年1月27日（土）14:00～

会場：広島県立美術館地階講堂（広島市中区上幟町2-22）

※聴講無料

ギャラリートーク

1月24日（水）山根 宏造（陶芸作家、日本工芸会正会員）

1月25日（木）原田 佳子（広島女学院大学教授）

1月26日（金）菅坂 安子（七宝作家、日本工芸会正会員）

1月30日（火）金城一國斎（漆工作家、日本工芸会正会員）

1月31日（水）山本 晃（金工作家、山口県指定無形文化財保持者）

2月1日（木）栗根 仁志（七宝作家、日本工芸会正会員）

2月2日（金）村上 勇（当館次長兼学芸課長）

時間：いずれも13:30～

場所：広島県立美術館3階企画展示室

※参加は無料ですが、入場券が必要です。



●JR広島駅より約1km ●広島城より約400m
●市内電車（「八丁堀」乗り換え）白鳥線で「縮景園前」下車約20m

お問合せ：

広島県立美術館
HIROSHIMA PREFECTURAL ART MUSEUM

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22
TEL 082-221-6246 FAX 082-223-1444
URL <http://www1.hpam-unet.ocn.ne.jp/>
Mobile <http://www1.hpam-unet.ocn.ne.jp/i/>



白鳳堂の化粧筆

それは、美しさを生み出す、シンプルで、豊かな道具

白鳳堂